

ゆん・なんニュースレター

第号47 令和3年 10月 10日

お彼岸が過ぎて数日経って、秋めいてきましたね。暑さ寒さも彼岸までとは先人は上手に言い当てますね。「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」とか言いますが、この表現は日本だけのものだと思います。秋に美味しい秋刀魚や栗、松茸など美味しいものが色々ある日本の秋ですが、これは季節がはっきりしている日本だからこそこの表現ということです。旬のものもそうですね。ハーベスト（収穫祭）は西洋ですが、日本人は旬のもの（その時期しか食べられない物）を大事にします。そういう日本人ですが、現在、食べ残し、売れ残りやく消費期限が近いなど様々な理由で食品が捨てられる「食品ロス」日本の食品ロス量は年間600万トン（毎日10トンの大型トラックの約1,640台分の量）になるそうです。キッチンゆんたくで頂く食材は食品ロスの軽減に繋がっています。家庭でも大切な食品を無駄なく食べきるよう工夫したいものですね。

今月のトピック： インドネシアのバリ島で「バイバイ・プラスチックバッグ」というキャンペーンを始めレジ袋などのプラスチック製品の禁止を実現させたメラティ・ワイゼンさんの登場です。

メラティ・ワイゼンさんは2013年、12歳の時に、2歳年下の妹イザベルと、プラスチックごみをなくすための「バイバイ・プラスチックバッグ」キャンペーンを開始。2人は2018年に、TIM誌の25 Most Influential Teens（最も影響力のあるティーンズ25人）に選ばれました。2019年にバリ島でプラスチックバッグ、プラスチックストローなどの使用禁止を実現しました。12歳と10歳の女の子の活動は当初、大人達から真剣に受け止められていなかったものの、諦めずに自分のメッセージを持って強くあり続け、そのようにして8年間活動し続けました。「バイバイ・プラスチックバック」は現在世界30カ国で60組織あります。ワイゼン姉妹がオンラインの請願書を公開してからの24時間に6000を超える署名が集まりました。

大人の人々は若者の意見を聞きたいと思うようになってきたのです。現在、20歳のワイゼンさんはユーストピアというネットワークに取り組み、世界中の若いチェンジメーカーたちの本居地作りに取り組んでいます。



ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

お彼岸の後でしたが、おはぎを作りました。以前、京都府のフードセンターから、玄米のもち米を頂いていたので、精米して（家庭用の精米機で）圧力鍋で炊きました。すりこ木で少し潰してラップの上に広げてその中に餡子をいれて包み込みます。Aちゃんにきな粉おはぎを仕上げてもらいました。「やったことない」「食べたことある」「簡単やな」と言いながら作ってくれました。他の子たちからは「おいしかった」の感想も受け取りました。😊

さて、10月のキッチンゆんたくでは「きな粉おはぎ」を提供いたします。リハーサルで上手くいったので、この調子で大量生産もOKですよ。皆さん、お楽しみにね！！



なんくるはなんくるないさ〜

(なんとかなるよ！)

暑い夏でしたが、なんくるメンバーは大きく体調をくずすことなく無事に秋を迎えました。Aさんは新しいアルバイトに挑戦するべく面接に行っています。時間が合わなかったり場所が遠かったりと、なかなか一筋縄ではいかないものですが、自分で見つけて応募して面接に行く…しんどいし、とてもパワーの必要なことです。それでもみんなが通ってきた道！自分に合うアルバイトを見つけて、有意義な生活を送ることができるようにあともう少し、ここが踏ん張りどころです。他の子たちもアルバイトはもちろん、学校の課題や試験に追われる日々…スタッフはみんな陰ながら応援しています。





来月のキッチンゆんたくのご案内

2021年

11月18日（第3木曜日）開催

予定メニュー：ゆんたくカレー&サラダ

11月からは、場所を移転する予定です。
詳しくは別紙をご参照下さい。



10月のキッチンゆんたく

メニュー

・ゆんたくカレー

☆デザートは、きなこおはぎ♪

引き続きテイクアウトです！

夕方5：30～なくなり次第終了

☆子ども…50円/大人…100円

☆ボランティアさん募集☆

キッチンゆんたくの主に調理をお手伝い

いただける方を募集しています。

よろしくお願ひします！

Thanks

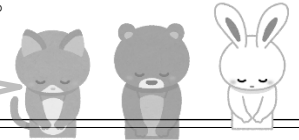
近隣の会社K様より金一封、近隣のU様よりお米をいただきました。

また、きょうとフードセンター様よりコーヒー・カップ麺・除菌シートを

フードバンク京都様よりお米・カレー粉・人参・お菓子をいただきました。

皆様、いつもありがとうございます。

Thanks ♪



紙芝居・絵本紹介

『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか 作・絵

今回は元保育士が子ども達に読み聞かせをして楽しかった絵本です。

<あらすじ>

お天気の良い日、お散歩に出かけたぞうくんは、途中でかばくんに出会います。「一緒に行こう」と誘うと「背中にのせてくれるなら」とかばくん。ぞうくんはかばくを背中にのせて歩き出します。次に出会ったのはわにくんです。ぞうくんが「一緒に行こう」と誘うと「ぼくものせてよ」とわにくん。かばくんとわにくんを背中に乗せて歩いていると、今度はかめくんに会いました。「一緒に行こう」と誘うと、「ぼくものせてよ」とかめくん。歩き出したもののさすがに重くて、ひっくり返り、池の中に落ちこちます。でも、みんなご機嫌。だって今日はいい天気。水遊びにも最適です。

ぞうくんが次々と出会う動物と「いいとも、いいとも」「うん、うん、ぼくはちからもち」と繰り返されるリズムカルな言葉が心地よく、2歳前後の子ども達はにこにこ！安心感をもって絵本を見てください。でも、だんだん縦に並んだ動物たち・・・少し不安になり、どきどきしていると「うわーっ」「どぼーん」池の中に動物たちが落ちこちます。子ども達は驚きの表情に・・・「今日はいいてんき」と水遊びが始まると子どもたちの表情もニコニコ(^_^)になります。子ども達の表情の変化が可愛くてくりかえし読み聞かせをしたと話してくれました。